



団体名	申請の段階
事業実施年度 小南クラブ（漢字検定チャレンジクラブ）	〒 4 1 0 - 1 1 2 3 団体住所 裾野市伊豆島田 3 8 8 パソコンメールアドレス junko13btfc3s@yahoo.co.jp
<p>■ 目的（何のための事業）</p> <p>子どもたちの異年齢交流と、地域の方の社会教育を実践することで、地域としての生涯学習を推進するため。また地域の中で顔見知りを増やし、名前を呼び合う仲間を増やしていく。</p> <p>■ 活動内容</p> <p>既に行ってきた漢字検定チャレンジクラブを拡充し、更に多くの南小の子どもたちと南小地区の住人、それ以外の地域でも関りを希望する大人の漢字検定を目指した学習を通じた交流を実施する。区長・民生委員とも共通理解をはかり、仕事を退職した方や一人暮らしの方にも参加の声掛けをしていく。練習日年間14回予定。受験8月・2月の年2回。</p> <p>■ 事業の成果</p> <p>南小を受験会場にすることができたため、子どもたちだけでなく交通手段が限られたシニア世代も徒歩で来ることができ、参加者の増加につながっている。また、顔見知りが増え名前呼びあおうなど、この活動で生まれた交流が日常での交流に繋がっている。年間受験者数も初年度は35名・2年目は52名、本年度は83名と着実に増えている。</p> <p>■ 今後の展望</p> <p>コミュニティールームも活用し、地域の方の参加者が増えるように働きかけをしていく。今後は、漢字検定協会の「漢字まなびの助成金制度」を活用しながら、タブレット端末を利用するなどして資金面でも持続可能な事業にしていきたい。</p>	<p>■ 活動の様子</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <p>↑ 写真1の説明 漢字検定本番当日の様子</p> <p>➤ 写真2の説明 漢字チャレンジクラブの様子</p> <p>■ 活動中に工夫した点</p> <p>コロナ禍でも活動が継続できるように、学習会場を3か所に増やし、見守りサポーターさんの人数も増やした。子どもたちはchromebookも活用し学習を進めた。</p> <p>■ 活動中に苦労した点</p> <p>コロナ感染拡大の為に、練習回数が減ってしまった。会話をすることが難しく「教え合う」場面の設定ができなくなってしまった。</p>